



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立 1964年3月2日

例会日 毎金曜日 12時30分

例会場 オークラ千葉ホテル

会長 鈴木 美津江

幹事 杉本 峰康

会報委員長 村田 紀之

〈事務局〉 〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階

(☎ 043-245-3204)

2013年3月第3週号

第2396回



平成25年3月15日(金) 点鐘12:30(晴れ)

ロータリーソング 『手に手つないで』

四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■お客様紹介

・本日のゲストスピーカー／地区職業奉仕委員会
委員長 海寶 勘一様(千葉西RC)

■会長挨拶及び報告 鈴木 美津江会長

皆様こんにちは。今日は、「第5回ロータリーを知る会」ということで、千葉西クラブから地区職業奉仕委員長として海寶さんにお出で頂きました。どうぞ宜しくお願い致します。

■ニコニコボックス報告

★海寶 勘一様

千葉南ロータリークラブさんで卓話が出来ますこと、大変喜ばしく感謝申し上げます。

★鈴木 美津江会長、杉本 峰康幹事

千葉西RC・海寶勘一様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話を楽しみにしております。

本日のニコニコボックス	5,000 円	累計	647,000 円
金の箱	687 円	累計	10,759 円

第2397回例会

日時⇒ 平成25年3月22日(金) 点鐘12:30

卓話演題⇒『健康づくりに関する新規事業について』

卓話者 ⇒ 千葉市保健福祉課健康部健康支援課
課長 増田 幸一様

第2398回例会

日時⇒ 平成25年4月5日(金) 点鐘12:30

卓話演題⇒『自己紹介』 卓話者 ⇒江沢 一男会員

■出席報告 (会員数43名)

出席者数30	欠席者数13	ビジター 1	修正出席率 76.19%
--------	--------	--------	--------------

■千葉市内例会変更のご案内 [メニューページ](#)にご利用下さい

千葉RC	月	4/8・4/15	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	4/30	センシティブター「東天紅」
千葉幕張RC	火	4/2	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	4/3・4/17	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	4/10	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	4/4	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	3/28	京成ホテルミラマレ

…… 本日の卓話 ……

卓話演題⇒『職業奉仕について』

卓話者 ⇒ 国際ロータリー第2790地区

職業奉仕委員会 委員長 海寶 勘一様



千葉南ロータリー・クラブのみなさんこんにちは。2010年織田ガバナ一年度に於いて、地区職業奉仕委員会が開催を致しました、第3分区分Bのロータリー情報研究会では、当時の水野 AG と榎原会長さんには大変にお世話になりました。ホストをして頂きました千葉南クラブさん

に、改めて感謝申し上げます。その水野さんも鬼籍に入られ榎原さんは世代交代をされてしまい、時の流れを感じ、今でも優しいお二人の笑顔が懐かしく思い出されます。

去る1月18日の千葉南クラブさんの例会では、職業奉仕理論の大家である齋藤 博 PG が博識で高尚な卓話をされていますので、最近地区委員として体験したことを交えながら、お役目を果たしてみたいと思います。織田ガバナ一年度はクラブ委員会が主体となって活動できるように、各クラブで研修委員会を設置して頂き、継続的な学びの場を構築して下さいと啓発活動をしました。織田さんは一貫してロータリーの綱領を理解するべきと主張され、ロータリアンの資質の向上を訴えて、「私たちは何故週一度例会に集う

のか」と、ロータリアンとしての根本を問いかけてきました。今年度得居ガバナーは、綱領を良く理解し推進することこそが職業奉仕の精神を推進し理解できることと言明し、ロータリアンの至宝とすべき、「職業奉仕に生きること話し合い語り合おう」と提言されました。併せてクラブの活性とサポートを目標に、各分区単位で行われたロータリー情報研究会は織田年度と得居年度に継承され活動しています。時に耳にする怪訝な言葉があり、何故にロータリー情報研究会に於いて、職業奉仕だけを特別にとり入れるのかと風評されていますが、ロータリアンの基軸が職業奉仕にあるからです。私たちロータリアンは審美眼を発揮し、今こそロータリーの真髓を学びとり、事業による力強い利得と人間的な功德を受益して一層の豊かさを知るロータリアンになるべきです。新たなクラブ活性を推進させていくことこそ、効果的なロータリーでありクラブ運営であり活力あるロータリー活動に結びつきます。

「綱領」《目的》には、**有益な事業を基礎にして奉仕の理想を鼓吹し育成する: 事業及び専門職務の道徳的水準を高めあらゆる有益な事業は尊重すべきと言う認識を深めロータリアン各自が事業を通してその品位をたかめること:**であると、職業を代表して活動するロータリアンの心構えを謳っております。全くその通りだと信じます。**標準クラブ定款第15条綱領の受諾と定款細則の遵守**に書かれている文章こそが、改めて心得る必要がありますし、如何にロータリーライフを満喫できるかの肝心な関所だと思うのです。その綱領が分かり易い文言に訳し直されることは、時を今にして、「目的」を諳んじて言えるようになり、職業人の誇りを確信し一層品性豊かなロータリアンになる好機であると思います。私たちは、**会員選考**に選ばれてロータリアンになった自負心があればこそ、**標準クラブ定款第8条の職業分類**を代表する会員を誇っています。自らの克己心を磨き事業所や取引先になる世の中の為人様の為を思い遣る心である「**超我の奉仕**」が育まれています。

ロータリーの職業奉仕とは、職業人としての心磨きと人格向上を端的に言い表し、職業奉仕とは職業人としての資質を高め品格をもって、世の人々から信用を得られるかの自己研鑽のことになります。日常の商取引に於いて信頼を積み重ね尊敬される人間性を至宝にして、思い遣る精神を磨くことにより、必ずや、世の中の信頼が大きな利得をもたらしてくれますし、人間的な徳をも身につけることができます。世の中からの尊敬される仕草や風格は一層職業人の資質が高まり、その立ち居振る舞いから伝搬する相乗効果は、豊かな心をもつ人間性を高めてくれます。クラブ例会は品性ある親睦を深める場であり、会員同志がお互いの信頼関係を一層高めながら切磋琢磨しあっています。信頼ある人々の親睦からは、お互いを思いやりのある心優しい心が育み、その真摯な信条をもって一層尊敬される職業人として、世の中の人々から信用を得ることができます。尊敬の念を深めての事業経営からは、継続的な信頼関係の商取引ができ、波状効果をもって社会貢献ができるものです。

ロータリー活動は親睦と奉仕の両輪が上手にかみ合っただけで、その意義が大きな価値として評価をされます。併せて理論と実践と言う非常に本筋を捉えた、自分自身への切なる利得や人徳に結びつく真実を現実にするのです。自身

に奉仕をすることから関係する方々に波及させることが職業奉仕唯一の考えかたなのです。

クラブ奉仕はクラブ内の運営に奉仕をする活動、社会奉仕は世の中や人の為になる奉仕活動をする事、国際奉仕は国境を越えた世界の親善平和に奉仕活動をする事、新世代奉仕は次世代の若者に向かって様々なプログラムを提供することであることは、良く分かり易い奉仕活動です。職業奉仕だけは、あくまでも自身の人間性の資質向上を通して、事業の安定と発展をするために、頭脳と精神的な汗をかき克己心を学びとる奉仕なのです。「**入って学び出でて奉仕せよ**」は毎週のクラブ例会に入りて学ぶために親睦を深め、会員同志が切磋琢磨しあい、損得勘定だけでなく、善悪を見極めることができる品格ある人間性に成長する必要があります。例会から出でては、社会のために人を思い遣る気持ちをもって、出来るだけの奉仕活動を活発にしてみたいものです。**親睦と奉仕、理論と実践のバランス感覚**をもって、クラブ内の会員同士の親睦から、分区内地区内のまたは、地区を超えての交流を楽しみ、ロータリアンの誇りを喜び合っていきたいものです。ロータリーライフからの贈りものは、地区国境を越えた友愛と、人徳や功德が、何よりも大きな利得として身に着く感動があります。そのためにも、「**最もよく奉仕をするもの最も多く報いられる**」ことを信じて、毎週の例会に出席し、委員会活動に積極的に参加することが大切になっています。多くのロータリーの感動を楽しみ享受し、伝道していくためにも、**お互いを認め許しあえる寛容さを大切にしていきたい**ものです。

「**職業奉仕**」は職業人や専門職務者であるロータリアンが日々自分磨きをして人間性を向上することであり、その評価を利得として世間から受ける自分が受益者になると信じていきたいものです。謙虚さと奥深きことに比例してくれて、その評価が大きくなり自分の利得に結びつく考え方なのです。しっかりと誇りあるロータリアンとして、最もよく奉仕をするもの最も多く報いられることを実践していきましょう。新しく訳し直されたロータリーの「目的」は、**意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。その第2項は、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること:**とあります。これこそが職業奉仕の真髓なのです。思い遣る心が大きく親炙しあえるロータリアンを目指して学び、「**四つのテスト**」やロータリーの「**行動規範**」を座右の銘に活用させ、事業の稔が果実として沢山報いられる職業人を意識していくことが、即ち「**奉仕の理想**」(理念)に帰結できるのです。顔と顔を見合っただけで親睦を深め、豊かな慈愛心を構築させて、人様を思い遣る心を風格として感じ取ってもらえる奥深い人、そんな謙虚な人の生き方を何気なく学ぶ人がロータリアンなのです。歴史ある、千葉南ロータリー・クラブ会員皆様の職業奉仕が活性化されて、効果的な御自身の事業繁栄に結びつき、世の為になる思い遣る心の波紋を広げていくための一石を投じて頂き、是非とも、活力ある分区や地区のリーダーの役を担って頂くことを心から念じております。

放談にご清聴くださりありがとうございました。

《文 海寶 勘一様(千葉西ロータリー・クラブ)》